

令和4年度12月補正予算における「新型コロナウイルス感染症対応
関連事業」及び「地方創生臨時交付金活用事業」に係る補正予算の概要

今回の12月補正予算のうち「新型コロナウイルス感染症対応関連事業」及び「地方創生臨時交付金活用事業」への対応として、歳出予算を増額して行う事業は10事業（★印）であり、当該事業の補正額合計は、33,095千円である。

概要は以下のとおり。

(1) 市営バス事業費【生活環境課】補正額：4,554千円のうち

★オンデマンド交通実証運行の準備 補正額：3,150千円

令和5年4月からの区域運行型のオンデマンド交通実証運行の実施に向けて、システム導入等の環境整備や地元説明会の開催等を行う。

- 事業内容
- ①システム導入等の初期設定費
 - ②地元説明会等支援業務委託料
 - ③ポスター及びパンフレット制作費
- 予約開始日 令和5年3月下旬（予定）
- 運行開始日 令和5年4月中旬（予定）

(2) ★こども及び妊産婦医療費助成費【こども課】 補正額：2,135千円

長引くコロナ禍における子育て世帯の医療費負担の軽減を図るため、令和5年4月1日から通院に対する助成対象年齢を中学生から高校生等まで拡充することに伴い、対象者への周知及び新たな受給資格証の一斉送付を行う。

- 送付対象者 3,400人
(平成17年4月2日から令和4年4月1日までに生まれた人)

(3) 児童福祉施設の整備に係る建築資材高騰に対する支援

石動西部こども園に設置される子育て支援センター及び放課後児童クラブの整備に係る建築資材高騰分を支援する。

(ア) ★地域子育て支援拠点事業費【こども課】 補正額：3,848千円

(イ) ★放課後児童健全育成費【こども課】 補正額：4,827千円

- 支援率 建築資材高騰額の2分の1
- 利用開始 令和5年3月（予定）

(4) ★児童福祉対策費【こども課】 補正額：財源更正

令和4年度の臨時的措置として交付される富山県新型コロナウイルス感染症対策子育て応援臨時交付金（県臨時交付金）について、本市の子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業の財源として活用する。

- 本市の令和4年度子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業の内容
- ・（未就学児）生後6か月～6歳 3,000円（2回）【県補助10/10】
 - ・（小学生）7歳～12歳 3,000円（2回）【県臨時交付金10/10】
 - ・（中学生）13歳～15歳 3,000円（1回）【県臨時交付金等】
 - ・（高校生等）16歳～18歳 3,000円（1回）【地方創生臨時交付金】

(5) ★地域医療体制整備事業費【健康福祉課】 補正額：6,406千円

長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受診者数が回復していない砺波医療圏急患センターに対し、継続して安定した医療サービスの提供ができるよう、運営負担金を増額する。

○運営負担金増額分 6,406千円

(6) ★園芸振興事業費【農林課】 補正額：2,569千円

燃料価格高騰対策として、園芸作物の生産費低コスト化に取り組む農業者に対し、補助する。

補助対象者	事業内容	補助額 (県1/3、市1/6)
(株)宇川農産	ヒートポンプ整備	1,343千円
小矢部市施設園芸組合	大型扇風機、遮光カーテン整備	1,226千円

(7) ★商工業振興対策費【商工観光課】 補正額：8,760千円

燃料価格高騰の影響を受けている市内運輸事業者が継続して事業を行えるよう、事業用車両の稼働数及び走行距離に応じて、支援金を支給する。

- 対象車両
- ①一般社団法人富山県トラック協会に登録済みの車両
 - ②市内の本社、支店、営業所等を起点に発着する車両
 - ③現に稼働している車両
 - ④令和4年4月から9月までの月間平均走行距離が2,000km以上の車両

○支援金の支給基準

月間平均走行距離	支援額
2,000km以上5,000km未満	2万円/台
5,000km以上	5万円/台

- 事業費内訳
- ①支援金 2万円/台×200台=4,000千円
5万円/台×95台=4,750千円
 - ②事務費 10千円

(8) 小中学校における学校教育活動の継続支援費の追加

小中学校における新型コロナウイルス感染症対策費を追加し、学校教育活動の継続支援を行う。【国 10/10】

(ア) ★小学校管理運営費【教育総務課】 補正額：840千円

- ・ 140千円×3校(東部、蟹谷、津沢)
- ・ 210千円×2校(石動、大谷)

(イ) ★中学校管理運営費【教育総務課】 補正額：560千円

- ・ 140千円×全4校(石動、大谷、蟹谷、津沢)